



コーヨー通信

Koyo

《 交通事故 ! 》

交通事故は、毎日どこかで発生しています。

平成23年現在で約8千万人が免許を保有しており、警察庁の発表では平成25年に4373人が亡くなっています。飲酒運転の撲滅運動等で年々、亡くなる方が減少はしていますが、まだ年間約60万件の事故の届け出があります。

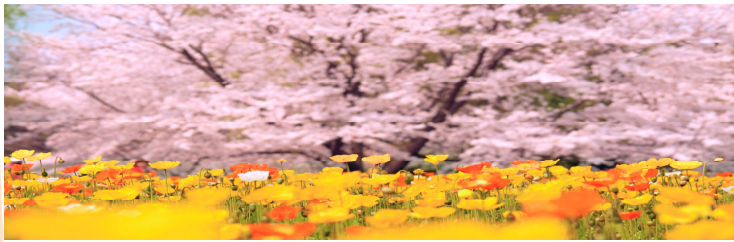
どんなに注意しても、当てられる事もあるでしょう。

その為の備えとして、任意保険の加入が必要です。

特約の車両保険を解除したとたんに自損事故というのは結構聞く話です。うっかり任意保険が切れているのに、気がつかず事故した時は悲惨です。保険会社に車両入れ替えの報告を忘れていただいても保険の支払いが免責になる事例があります。

対物で、高速の電光表示板の柱をつぶすと1,000万以上はざらで、対人になると想像するだけで怖いです。

交通法規を守り、安全運転と危険回避の予測運転で事故を防ぐことは出来ます、が・・・



赤信号は止まれ！黄色信号は注意！では青信号は？

『進め！・・・』ではありません。

青信号の意味は『進むことができる』です。

青信号でも場合によっては過失が発生します。

「一旦停止で止まったのに事故しちゃった」と、よく聞きますが、どちらも安全確認がネックです。

また、周りの交通に注意を払うことも大事です。

飛び出し等に注意して、「右折は大きくスムーズに」

「左折はゆっくり小回りを」心掛けたいです。

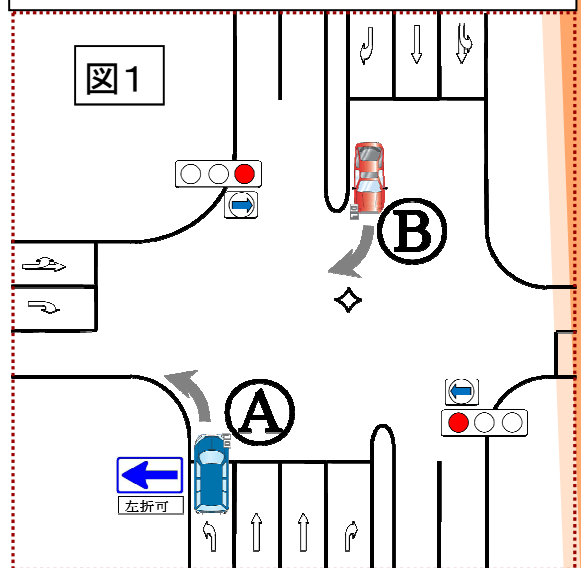
たまに右左折する時に、曲がる方向と逆にハンドルを切って大きく回る車を見かけますが、隣の車線の車が慌てて急ブレーキを踏んでいます。

事故にならなくてよかったと思う反面、ドライバー自身が危険な運転をしている事に気が付いているのかなーっと心配になります。

「…だろう運転」よりも「…かもしれない運転」が大事で、周りの交通に注意して いざ という時に慌てないように運転したいものです。

図1の状態で、「左折可」の車線の青い車Aと右折の矢印が出ている赤い車Bが同じ車線に入ろうとしています。

優先されるのはどちらでしょう？

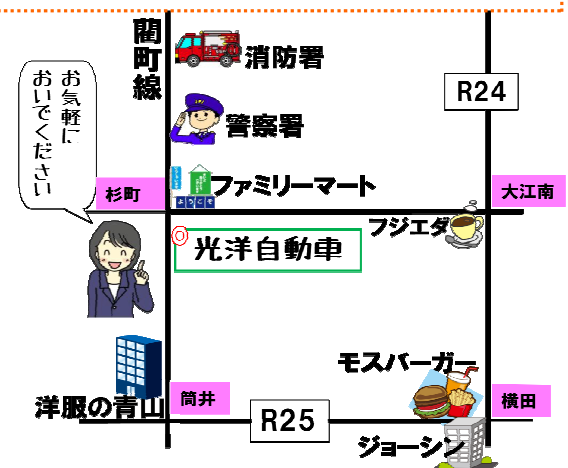


『左折可』の表示板のある時
道路の左端や信号機に「左折可」（白地に青い左向きの矢印）の表示板がある時は、車は前方の信号が赤や黄であっても、歩行者等まわりの交通に注意しながら左折することができます。

【A】

もともと判断の分かれるところではあるのですが、交通整理の行われている右折の矢印よりも、渋滞を防ぐためと思われる「左折可」の表示板の方が拘束力としては弱いと思われます。

どのタイミングでも左折できる「左折可」よりも、右折を優先させるゆとりがあったらいいですね。



HP⇒<http://koyo123.sakura.ne.jp>

eMail⇒k.taka@koyo123.sakura.ne.jp

電話 0743 (56) 5554

株式会社 光洋自動車



Koyo

2015 Calendar

光洋自動車 営業日カレンダー 4月～9月

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4						1	2		1	2	3	4	5	6
5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
26	27	28	29	30			24	25	26	27	28	29	30	28	29	30				
							31													
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4						1				1	2	3	4	5
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			
							30	31												

ゴールデンウィーク

従業員研修

臨時休業

お盆休み

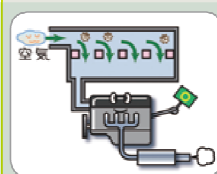
シルバーウィーク



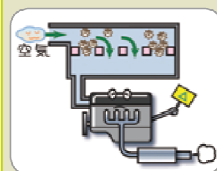
ホームページもご覧ください。
example.microsoft.com

車の部品の消耗・劣化は重大な故障の原因となる可能性があります。クルマを安全・快適に使用する為には定期的な点検整備が不可欠。定期点検により、クルマの状態を正確に把握し、状態に応じた整備を行ってください。

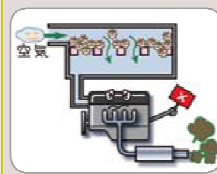
エアクリーナーエレメント



エンジンが吸入する空気中のチリなどをろ過します。

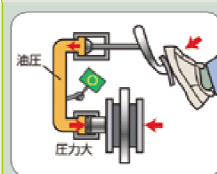


チリなどが蓄積されて目詰まりが発生します。

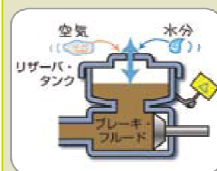


エンジンの出力低下のほか、燃費や排ガスが悪化します。

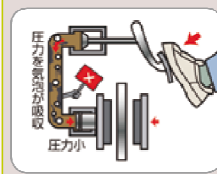
ブレーキ液



ペダル踏力を油圧でブレーキ装置に伝えます。

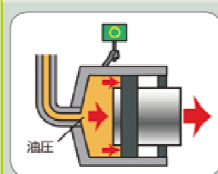


通気口から空気中の水分を吸収し劣化します。

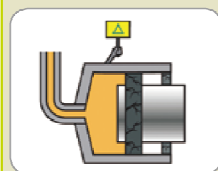


気泡発生によりブレーキの効き不良を起こします。

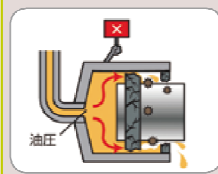
ブレーキディスクキャリパのゴム部分



油圧を保持し、ブレーキを効かせます。



ゴム素材のため、摩擦や伸縮を繰り返すことで劣化します。



液漏れが起こり、ブレーキの効きが悪くなります。

○正常な働き

△交換の必要性

×交換を怠ると